

商工会地域の景況感は製造業、建設業、サービス業で改善したものの、小売業は大幅に悪化。来期、小売業は改善が見込まれているものの、他業種は悪化の見込み。

—2024年10月～12月期 中小企業景況調査報告書概要—

日銀が2024年12月13日に発表した12月の企業短期経済観測調査(短観)によると、企業の景況感を示す業況判断指数(D・I)は、大企業・製造業で9月の調査から1ポイント改善しプラス14となった。木材・木製品などで悪化したものの、石油・石炭製品、生産用機械などで改善した。大企業・非製造業は9月調査から1ポイント悪化しプラス33となっている。全業種でプラスとなっているものの、9月調査比小売で15ポイント、宿泊・飲食サービスで12ポイント悪化している。

中小企業の業況判断指数は、製造業では1ポイント改善してプラス1、非製造業は2ポイント改善してプラス16となっている。製造業では鉄鋼がマイナス23ポイントと厳しく、繊維、木材・木製品もマイナス幅が大きい。非製造業は全業種プラスで推移している。

販売価格判断(上昇-下降)を見ると大企業・製造業ではプラス25と1ポイント低下。中小企業・製造業はプラス29で横ばいとなっている。仕入価格判断(上昇-下降)は大企業・製造業でプラス39と9月調査比2ポイント低下。中小企業・製造業はプラス58で1ポイント上昇している。販売価格判断、仕入れ価格判断ともにほぼ横ばいとなっているが、水準としては高い。

3か月後の先行き見通し(2025年3月予測)は、12月調査比大企業・製造業は1ポイント悪化しプラス13、非製造業では5ポイント悪化のプラス28と予測されている。中小企業では、製造業は1ポイント悪化しプラスマイナス0、非製造業は8ポイント悪化のプラス8と予測されている。

内閣府が2024年12月20日に発表した12月の月例経済報告では、我が国経済の基調判断は「景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している」としている。個別項目の「業況判断」は、「改善している」としている。11月からの変更項目は、生産につき「このところ横ばいとなっている」としていたものを「横ばいとなっている」に、企業収益につき「総じてみれば改善している」「総じてみれば改善しているが、そのテンポは緩やかになっている」と引き下げられている。先行きについては、「雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。(中略)また、物価上昇、アメリカの今後の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある」としている。

県内商工会地域の景況調査においては、今期(2024年10月～12月)の業況に関するD・I値は、製造業が前年同期より8.7ポイント改善しマイナス14.8、建設業は12.0ポイント改善しプラス4.0、小売業は26.3ポイント悪化しマイナス54.1、サービス業が12.9ポイント改善しマイナス1.9となった。製造業、建設業、サービス業で改善し建設業ではプラスに転じたが、小売業では大幅に悪化した。

来期(2025年1月～3月期)の業況予測は、製造業が今期実績より8.8ポイント悪化しマイナス23.6、建設業がマイナス24.0ポイント悪化しマイナス20.0、小売業は21.7ポイント改善しマイナス32.4、サービス業は5.5ポイント悪化しマイナス7.4と予測されている。

業界天気動向図

項目 業種	売上				採算(経常利益)				資金繰り			
	2024	4	7	10	2024	4	7	10	2024	4	7	10
	1 月	月	月	月	1 月	月	月	月	1 月	月	月	月
製造業												
建設業												
小売業												
サービス業												

各項目については次により表示した。

区分	増加	やや増加	横ばい	やや減少	減少	大幅に減少
	好転	やや好転		やや悪化	悪化	非常に悪化
D・I値(前年同期比)	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～△20.0	△20.1～△35.0	△35.1～
表示	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

今期直面している経営上の問題点

(数値の左は前期構成比、右は当期構成比を記す)

業種	1位		2位		3位		4位			
製造業	原材料価格の上昇		需要の停滞		人件費の増加		従業員の確保難		その他	
前期	29.4	32.4	11.8	20.6	8.8	17.6	5.9	5.9	5.9	5.9
今期	29.4	32.4	11.8	20.6	8.8	17.6	5.9	5.9	5.9	5.9
建設業	材料価格の上昇		従業員の確保難		官公需の停滞		人件費の増加		民間需要の停滞	
前期	29.2	28.0	20.8	24.0	8.3	12.0	4.2	8.0	4.2	8.0
今期	29.2	28.0	20.8	24.0	8.3	12.0	4.2	8.0	4.2	8.0
小売業	仕入単価の上昇		購買力の他地域への流出		需要の停滞		消費者ニーズの変化、人件費以外の経費の増加、販売単価の低下・上昇難			
前期	20.0	24.3	17.1	18.9	14.3	13.5	—		8.1	
今期	20.0	24.3	17.1	18.9	14.3	13.5	—		8.1	
サービス業	材料等仕入単価の上昇		人件費以外の経費の増加		利用者ニーズの変化		需要の停滞		店舗施設の狭隘・老朽化	
前期	45.8	45.8	6.3	14.6	10.4	12.5	10.4	10.4	8.3	6.3
今期	45.8	45.8	6.3	14.6	10.4	12.5	10.4	10.4	8.3	6.3